

第49回SciREXセミナー

科学技術外交の 近年の動向と今後の課題 ～我が国の学術研究や産業界との つながりを事例から考える～

2024. 6. 20 Thu. 18:30 – 20:00

当日にお答え
できなかった
ご質問への回答

概要・当日資料は
こちらから！



第49回 SciREX セミナー
科学技術外交の近年の動向と今後の課題
～我が国の学術研究や産業界とのつながりを事例から考える～
(2024.06.20 開催)

当日お寄せいただいたご質問（未回答）への回答

Q パデュー大学は「Tech Diplomacy」と謳っています。Science Diplomacy との違いは何でしょうか？例えば、Tech というと明確な技術である半導体などを指しているようです。サプライチェーンの再構築というテーマにもつながっているように思います。米国では、Science と Tech を明確に意図的に分けているのでしょうか？

A SciREX センターで関連の情報を以下の通り整理いたしました。ご参照ください。

- アメリカを含め、海外では日本の「科学技術外交」と同様の意味で「科学外交 (science diplomacy)」と表現することが多いです⁽¹⁾。しかしながら、パデュー大学 Krach Institute for Tech Diplomacy では技術に注目して Tech Diplomacy を提唱しているようで、技術が自由を促進するように、技術の専門性、シリコンバレーの戦略と外交手段を統合することを狙っているようです⁽²⁾。Krach Institute も引用している Forbes の記事⁽³⁾にもあるように、技術が国際関係の新たなフロンティアとなっており、技術が外交を規定するとともに外交が技術の開発と普及に影響を与えていることが背景にあると思われます。Science と Tech の使い分けが一般的になっているとは思いませんが、より技術に注目して外交を見るという視点を表していると思います。

参考までに、最近の、日本の科学技術外交の成果をお示します。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240411/k10014418401000.html>

- 参考
 1. 有本建男. 浅野佳那. 科学技術外交の近年の動向と今後の課題. SciREX コアコンテンツ. 2024, p.1-2.
<https://scirex-core.grips.ac.jp/1/1.5.3/main.pdf>
 2. <https://techdiplomacy.org/about-us/> (2024年7月9日閲覧)
 3. <https://techdiplomacy.org/the-era-of-tech-diplomacy-is-here/> (2024年7月9日閲覧)